

石巻地域の適疎な観光の実現と交通システムについて

令和 2 年度

- ワーキング・グループによる観光モデルプランを作成し、モニターツアーを実施
2月26日(金) 27名参加, コース・アンケート結果は別紙のとおり

令和 3 年度以降の展開

- 1 一般の方のモニターツアー
- 2 ツアーを複数造成し商品化
- 3 交通システムの利便につながる情報の提供

(内容)

- 令和 2 年度のモニターツアーの結果を踏まえ、ニーズに応じたツアーを検討。
→モニターツアーをベースに
 - ① モニターツアーのブラッシュアップし, 石巻地域の魅力コース(日帰り, 宿泊)
 - ② 語り部や震災伝承施設のほか, 観光客が地域に貢献する復興ツーリズムと社会性志向コース(宿泊)
 - ③ 石巻圏域会議委員の意見を基に, 金華山やリボンアートフェスティバル, 野蒜築港, お遍路等 おすすめコース(宿泊)
 - ④ 食を巡るタクシーツアー(寿司屋巡り, スイーツ巡り…)など
- 一般の方も参加いただき, 再度, モニターツアーを実施し, 更にブラッシュアップ。
- ツアーを複数造成し, 旅行会社への売り込み, 商品化を図る。
(旅行業登録業者である DMO やタクシー協会と連携し, 早期の実現を検討)
- 商品化した旅行を, 石巻エリアファンクラブとも連携し, 効果的な情報発信をし, コロナの状況に応じ, 近郊から徐々に誘客を促進する。
- 交通システムの利便性向上について, デジタルシフト事業なども活用しながら, 半島部や離島の観光地を中心に, 路線や周辺の観光や食の情報などを分かりやすく発信していく。また, 県や市町の交通担当課も交え, 継続的に意見交換していく。